

『論集 松江城（Ⅱ）』企画書

1 発行目的

全国の城郭研究者・愛好家に向け、全国的視野で松江城研究の最新成果を発信する。合わせて世界文化遺産登録に寄与することを目的とする。

2 掲載内容

「近世城郭の天守群」の世界遺産登録も視野に、世界における日本の近世城郭の特徴、「近世城郭の天守群」の特徴、それらから見える松江城の特徴を明らかにする。

【想定される調査研究テーマ】

- 「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に寄与する調査研究
- 既存の調査研究の発展
- これまでの課題・新たな課題に対する調査研究

論集 松江城（Ⅱ）：掲載案

項目 (表題〔仮称〕)	執筆者
松江城天守台の井戸	中井 均 (松江城調査研究委員会 副委員長)
慶長期の天守台石垣について 一天下普請石垣以前以後一	松井一明 (静岡市文化財課)
堀尾吉晴の城 浜松城と松江城	加藤理文 (日本城郭協会理事)
(仮)天守の語源と成立の歴史的背景	中西裕樹 (京都先端科学大学)
山陰地方における小規模平坦面群を有する中世城郭について	岡寺 良 (立命館大学)
(未定)	Delphine Vomscheid (デルフィーヌ・ヴォムシャイド)
楽山と御茶屋	和田嘉宥 (松江城調査研究委員会 委員)
天守の石垣と瓦 (仮題)	乗岡 実 (松江城調査研究委員会 委員)
(仮) 現存天守のある城下町の形	松尾信裕 (松江城調査研究委員会 委員)
天守の使い方 (仮)	山田由香里 (松江城調査研究委員会 委員)
浜松城跡における堀尾氏構築の石垣について	鈴木一有 (松江城調査研究委員会 委員)
(コラム) 論集松江城Ⅱの総括と今後の松江城研究 (仮)	清水真一 (松江城調査研究委員会 委員長)

* 締切: R7年8月31日(厳守)。

- 付録として松江城天守の用材樹種調査結果をまとめて掲載する予定
- 令和8年度に刊行予定